

令和 3年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	山崎智美
全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3519
事務事業名	4197 基盤整備促進事業										
所 属	200100 まちづくり推進部・道路河川課										
施 策	15012100 農業の活性化										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	060201 農林水産業費・農地費・土地改良事業費									
	事業	050000 基盤整備促進事業									
事業目的						事業概要・効果					
農地中間管理機構による地域内（受益地内）の担い手への農地集積の推進に向けた取組。						本事業により農業用排水路、及び取水ゲートを改修し、用水の安定供給と営農の効率化を図る。これにより、事業実施区域において農地中間管理事業を活用し農地の賃貸借面積の拡大をすすめていく。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 予定
仁礼地区	仁礼地区
令和 4年度 予定	令和 5年度 予定
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定

指標名	無し					
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		令和 2年度 決 算	令和 3年度 予 算
事業費		34,157	323,200
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	30,330	220,800
	地方債	6,400	60,400
	その他	1,133	0
一般財源	△3,706	42,000	
人員数(人)	正規職員	0.3	0.8
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	2,090.4	5,574.4
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	2,090.4	5,574.4
市民一人当たりの経費		0.7	6.3
総額		36,247.4	328,774.4

(単位：千円)

令和 2年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	4,906	設計業務委託4,906
14節 工事請負費	29,051	農道整備工事29,051
18節 負担金補助及び交付金	200	県土地改良連合会賦課金200
その他	0	

(単位：千円)

令和 3年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	6,000	測量設計業務 6,000
14節 工事請負費	252,000	用排水路新設改良工事 252,000
18節 負担金補助及び交付金	200	土地改良連合会賦課金200
その他	65,000	補償料65,000

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	本事業により老朽化した用排水路を改修し大雨時の溢水を防ぎ用水の安定供給と営農の効率化を図る。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	用排水路の溢水による耕作地への被害を防ぎ用水の安定供給と営農の効率化を図ることができる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	長年の地元要望を補助金を使って短期間で解消できる。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

地元調整に時間がかかったため高額繰越となった。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

農業生産基盤の整備により農業振興に繋がる。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

農業振興を図るため、継続して行う必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--